

各発達段階において求められる力

「おちついた生活」

学びの基礎力（自律的行動・継続力・規範意識・人間関係構築力）

- 自己的ことは自分でしようとする。
- 自分の生活にとって必要な行動の仕方やきまりがあることに気づき、生活に必要な習慣を身に付ける。
- 家庭や社会の基本的なマナーやルールを知り、それを守ろうとする。
- 他者の思いや考えを受けとめようとする。

就学前

内面に表記

- より高い目標を目指してやりぬく。
- 望ましい生活習慣を身に付け、規則正しい生活をする。
- 家庭や社会のルールやマナーについて考え、それを守って生活する。
- 相手の立場や考え方を受けとめて行動する。

小学校

- より高い目標を目指して、着実にやりぬく。
- よりよい生活習慣を確立し、規則正しい生活を続ける。
- ルールについて考え、必要に応じてルールを見直しながら、よりよい集団生活を目指す。
- 様々な立場の人の思いや考え方を踏まえて、自分自身の意志や判断で行動する。

中学校

高等学校

「かんがえ、伝える力」

思考力・判断力

- 身の回りの様々な環境に興味をもってかかり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。
- 相手の思っていることに気づく。

表現力

- 感じたことや考えたことを自分なりの言葉や方法で表現し、表現する楽しさを感じる。

問題解決力

- 友達と共に目的を見だし、工夫したり協力したりする。

就学前

内面に表記

- 多様な情報を比較したり関連づけたりして考える。
- 他者の考え方との違いを踏まえ、自分の考え方を深めた上で、判断する。

小学校

- 相手や目的、意図に応じて自分の考え方を適切にまとめ、分かりやすく表現する。

中学校

- 互いの考え方を生かし、協同して課題を解決する。
- 具体的な事象を比較したり関連づけたりして課題を見つけ、課題解決にあたり主体的に取り組む。
- 目的に応じて手段を選択し、必要な情報を収集する。

高等学校

- 多様な情報を比較したり関連づけたりして、体系的に整理しながら論理的に考える。
- 学んだことをもとに自分の考え方をもち、様々な立場からの意見を踏まえて適切に判断する。
- 目的や意図、場面に応じて、相手の立場も理解した上で、自分の考え方を適切にまとめ、分かりやすく説明する。
- 互いの考え方のよさや特性を生かして、協同して多様な視点から課題を解決する。
- 自分にとって価値のある適切な課題を設定し、必要な情報を収集し、それらを活用して計画的に課題を解決する。

「やる気」

小学校用

知的好奇心（学ぶ楽しさ）

主体性

自己実現力 社会的実践力

自己存在感 自己有用感

- 身の回りの様々な環境に好奇心や探究心をもってかかる。
- 生活中で様々なものにかかり、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。

- 見つけたり、考えたりしたこと遊びの中に取り入れようとする。

- 身近な仕事に関心をもつ。
- 手伝いをすることを喜ぶ。
- 地域の中で生活することを楽しむ。

- いろいろな遊びを楽しみ、物事をやりとげようとする。
- 自信をもって、自分ができるようになる。

小学校

中学校

高等学校

内面に表記

- 興味のあることについて、自分から進んで調べる。
- 生活や社会の中から課題や自分のやりたいことを見いだす。

- 学習したことを他の教科の学習や生活に積極的に活用しようとする。
- 学習の成果や自己の伸びを自覚し、自己の適性を見いだす。
- 目標を設定し、自主的に学習する。

- 将来の夢や職業を思い描き、自分の進路への関心・意欲を高め、努力する。
- 地域の活動等に、積極的にかかりかる。
- 物事をやりとげた達成感や成就感をもつ。
- 周りの人から認められていると感じる。

- 苦しさを乗り越えて、真理を追究する楽しさを知る。
- よりよく生きるために、課題を見いだし追究する。

- 学習したことを他の教科の学習や生活上の様々な課題の解決に活用しようとする。
- 学習の成果や自己の伸びを自覚し、自己の適性を伸ばそうとする。
- 目標を設定し、自主的に学習し、適宜学習方法等の見直しを図る。

- 自己の意志と責任で、主体的に進路を選択しようとする。
- 地域や社会に積極的にかかりかる、貢献する。
- 自ら進んで物事をやりとげ、達成感や成就感をもつ。
- 他者に自分の考えを自信をもつて示すことができ、周りの人から認められていると感じる。

おかやまっ子の 確かな学びをつくる



次代を担う「おかやまっ子」の確かな学力を育てるために、各発達段階において求められる力とその力を育成するための取組例を、

「おちついた生活」

「かんがえ、伝える力」

「やる気」

「まなびの定着」

の4つの視点からまとめました。

このリーフレットを、各学校の児童の実態や取組状況の確認、保護者会や地域の会での話し合いの資料等に積極的に活用して、学校と家庭・地域が連携した学力向上の取組が一層推進されることを願っています。



「まなびの定着」

学び方

学習計画力

知識・技能

- 家庭や幼稚園・保育所での生活の仕方（準備・片付け等）が分かる。

- 自分で生活の場を整えながら見通しをもって行動をする。

- 物の性質や数量、言葉などに関する感覚を養う。

就学前

内面に表記

小学校

中学校

高等学校

- 学習の仕方等を振り返り、工夫改善する。

- 継続して、計画的・効率的に家庭学習に取り組む。

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付ける。

- 目標達成に向け、学習の仕方等を吟味・修正する。

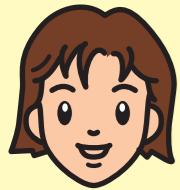
- 自分の人生設計に合わせて、課題を設定し、計画的・効率的に家庭学習に取り組む。

- 基礎的・基本的な知識・技能の上に、専門的な知識・技能を身に付ける。

◇このリーフレットは、岡山県教育局指導課ホームページからダウンロードすることができます。
(<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/146/>)

岡山県教育委員会

育てるために



次のようなことがしっかり取り組めているといいですね。各校でチェックしてみましょう。

小学校で

- 中学校区で連携して学び方や学習規律について共通理解し、発達段階に応じた学習の手引き等を作成し、指導する。
- 整った学習環境を保持し、心の安定に努める。
- 社会のルールを守って生活することの心地よさに気づき、ルールの大切さや必要感をもつことができるようになる。
- 協力し、助け合う、信頼できる人間関係づくりに努める。

- 問題解決的な学習過程の中で、学び合いの場を設定する。
- 自分で考えを書き、それを伝え合う場や時間を確保する。(ノート指導等)
- 筋道を立てて思考する場を設定し、表現のための語彙を増やす。
- 分かりやすい指導(教材提示装置やプロジェクトなどICTを取り入れた授業づくり)に努める。
- 学ぶ環境づくり(辞書・辞典・ICT機器・学級文庫・言語環境等)に努める。

- 「できた」「わかった」を大切にした授業づくりに努める。
- 興味・関心が高まる単元の導入や身近な課題づくりに努める。
- 地域の特性を生かした様々な体験活動を設定する。
- 児童が主体的に取り組む学級活動や学校行事を設定する。
- 学習したことが日常の他の場面に生かせないか、考えさせる場を設定する。
- 地域や郷土出身の方から学ぶ機会を設定する。
- 児童が相互に評価し合う場を設定する。

- 児童の実態等を把握し、習熟度別指導や個に応じたきめ細かな指導を充実する。(学習のめあてを示し、見通しをもたせる。学習を振り返る場を設定する。)
- 中学校と連携した家庭学習の手引き等を作成し、学習習慣の定着に努める。
- 朝や放課後の時間を活用するなど、時程を工夫して補充学習等を行う。
- 家庭と連携し、宿題や予習・復習など家庭での学習課題を適切に課す。

小学校卒業までに育てたい力

「おちついた生活」

学びの基礎力(自律的行動・継続力・規範意識・人間関係構築力)

- 自分がしなければならないことは最後までやりとげる。
- 規則正しい生活をする。
- 家庭や社会のルールやマナーを知り、それを守って生活する。
- 他者の思いや考えを受けとめ、友達のよさに気づく。

「かんがえ、伝える力」

思考力・判断力

- 身近な情報を比較したり関連づけたりして考える。
- 自分の考えと他者の考えを比べて、判断する。

表現力

- 自分の気持ちや考えを自分の言葉で表現する。
- 相手や目的に応じて分かりやすく表現する。

問題解決力

- 他者と協同して課題を解決する。
- 具体的な事象の中から課題を見つける。
- 目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。

「やる気」

知的好奇心(学ぶ楽しさ)

- 不思議に思ったり、疑問に思ったりしたことに関心をもつ。
- 生活の中から課題を見いだす。

主体性

- 学習したことを他の教科の学習や生活に結びつけて考えようとする。
- 学習の成果や自己の伸びを自覚する。

自己実現力・社会的実践力

- 身近な仕事にあこがれをもつ。
- 将来の夢や希望をもち、目標に向かって努力する。
- 地域の行事等に、進んで参加する。

自己存在感・自己有用感

- 物事をやりとげた喜びを味わう。
- 自分はやればできると感じる。
- 自分の得意分野をもつ。

「まなびの定着」

学び方

- 学習の仕方や進め方が分かり、工夫しようとする。

学習計画力

- 計画を立てて、継続して家庭学習に取り組む。

知識・技能

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付ける。

育てるために



次のようなことに取り組めるよう、保護者や地域の方と話し合ってみましょう。

家庭・地域とともに

〈家庭〉

- 子どもの話を聞くときは、目を見て、心で受けとめる。

- しっかりとほめて、きちんとしかる。

- 家族の約束や社会のルールをきちんと守るようにする。

- 時間を上手に使い、規則正しい生活が送れるよう、子どもと十分話し合い、テレビやゲーム等の時間やルールを決める。

- 子どもの心が落ち着く時間や場をつくる。

〈地域〉

- あいさつななどの声かけやパトロール等を通して、子どもを見守る。

〈家庭〉

- 身近な生活や本の内容等を話題にして、子どもと話し合い、大人の思いを伝えたり、子どもの考えを受けとめたりする。

- 自分で考えたり、判断したりしたことの理由をしっかりと受けとめる。

- 子どもを信じて見守り、がんばったプロセスを認めるようにする。

〈地域〉

- 地域の行事等で、子どもの感じたことなどを聞くようする。

〈家庭〉

- 子どもと将来の夢や目標を語り合う。

- 学校や地域での行事に親子で参加し、活動する楽しさを体験できるようにする。

〈地域〉

- 地域で子どもや保護者が参加できる行事等の場を設定し、運営等にもかかわることができるようする。

- 身近な地域の歴史や文化、自然のよさに触れる場を設定する。

〈家庭〉

- 時間や目標を決め、机に向かう習慣を身に付けさせる。

- 学校の学習活動を支援するボランティアなど、学校の教育活動へ積極的に参加する。

〈地域〉

- 地域の中に、子どもの取組の成果等を表現できる場を設定する。

- 学校の学習活動を支援するボランティアなど、学校の教育活動へ積極的に参加する。